## ナノロッドを導入した PLD-REBa<sub>2</sub>Cu<sub>3</sub>O<sub>y</sub> 薄膜における 臨界電流特性のナノロッド材料・RE 種に対する影響 Influence of types of nanorod material and RE on critical current properties in PLD-REBa<sub>2</sub>Cu<sub>3</sub>O<sub>y</sub> films with nanorods 京大院エネ科<sup>1</sup>, 電中研<sup>2</sup>, 同志社大<sup>3</sup> °堀井 滋<sup>1</sup>, 一瀬 中<sup>2</sup>, 春田正和<sup>3</sup>, 土井俊哉<sup>1</sup> Kyoto Univ.<sup>1</sup>, CRIEPI<sup>2</sup>, Doshisha Univ.<sup>3</sup> °S. Horii<sup>1</sup>, A. Ichinose<sup>2</sup>, M. Haruta<sup>3</sup>, T. Doi<sup>1</sup> E-mail: horii.shigeru.7e@kyoto-u.ac.jp

【緒言】PLD 法による希土類系高温超伝導(REBa<sub>2</sub>Cu<sub>3</sub>O<sub>y</sub>, RE123)線材における *H*//*c* 方向の磁場下臨 界電流密度(*J<sub>c</sub>*)の向上にはナノロッドの導入が有効であるとされる。ナノロッドを含む RE123 薄膜 では、成膜温度(*T<sub>s</sub>*)によってナノロッドの形態が変化し臨界電流特性に大きな影響を与える[1,2]。 本研究では、PLD 法におけるレーザー光源として比較的安価な Nd:YAG レーザーを用いて、臨界 電流特性に優れる RE123 薄膜の作製を目的とし、ナノロッドを導入した RE123 薄膜の臨界電流特 性に与えるナノロッド材料の影響について明らかにする。

【実験】PLD法を用いて SrTiO<sub>3</sub>(100)単結晶基板上にナノロッドを導入した Y123 薄膜を作製した。 成膜には BaNb<sub>2</sub>O<sub>6</sub>(BNO)、BaZrO<sub>3</sub> (BZO)、BaSnO<sub>3</sub> (BSO)を 5.0 at.%添加した Y123 ターゲットを用 いた。また、ナノロッド材料 BNO に対しては母相である RE123 相として RE=Y, Er, (Y,Er)を選択 した。レーザ光源には Nd:YAG レーザの 4 倍波を用い、レーザのフラッシュランプおよび Q スイ ッチの繰り返し周波数は、それぞれ 10 Hz および 2 Hz とし、30 分間成膜を行った。成膜中の酸素 圧力は 20 Pa になるように制御した。なお、a 軸成長粒を含まず c 軸配向膜のみが得られる成膜温 度( $T_s$ )領域である 850℃から 890℃の範囲で成膜した。得られた試料について X 線回折法により c 軸配向度および面内配向度を評価した。また、試料を幅 100 µm、長さ 1.5 mm のブリッジ状に加 工し、四端子法により臨界電流特性を評価した。

【結果および考察】Fig.1に Y123+BMO 薄膜において T<sub>s</sub>に対 するT<sub>c</sub>の変化を示す。ナノロッド材料がBZOやBSOの場合、 成膜温度とともに T<sub>c</sub>は上昇する傾向を示した。一方、BNO の 場合、成膜温度に対するTcの変化は緩やかであり、BSOやBZO と異なりT。とともにT。は低下する傾向を示した。この結果は、 導入されるナノロッドの様子が成膜温度やナノロッド材料の 選択により変化している可能性があることを示唆している。 Fig. 2 に Y123+BZO 薄膜の不可逆曲線を示す。なお、横軸は T<sub>c</sub>で規格化した温度とした。不可逆曲線の振る舞いはT<sub>s</sub>に大 きく依存している。我々が報告してきた Er123+BNO 薄膜[1] や Y123 + BNO 薄膜[3]での結果と同様、BZO 添加薄膜におい ても、低磁場での strong-Bose-glass 状態による下に凸の曲線か ら、高磁場での weak-Bose-glass 状態による直線的振る舞いへ と移行する不可逆曲線が見て取れる。さらに、この2つの状態 の境界磁場(Bcr)は成膜温度により大きく異なっていることも わかった。Y123+BSO 薄膜においても定性的には同様の振る舞 いが見られた。当日は、BcrのTsに対する変化に加えて、臨界 電流特性のTs依存性やTEMによる断面組織観察から得たナノ ロッド組織のT。依存性・ナノロッド材料に対する変化につい ても報告する予定である。

【謝辞】本研究の一部の遂行にあたり、藤田夏斗、小椋裕太、 前田敏彦、佐浦啓介諸氏の協力を得ました。ここに感謝の意を 表します。

【参考文献】[1] Horii *et al.*, *Appl. Phys. Lett.* **93** (2008) 152506. [2] Maiorov *et al.*, *Nat. Mater.* **8** (2009) 398. [3] Fujita *et al.*, Physica C 494 (2013) 140.



Fig. 1  $T_s$ -dependences of  $T_{cr}$  for BMO-doped Y123 films.



Fig. 2 Irreversibility lines for 5 at.% BZO-doped Y123 films.